



ワグナー新市長、警察官と市議会議員の経験を市政に活かす

Mayor Jeff A. Wagner was sworn into office as mayor of Pasadena, Texas on July 1, 2017. Prior to serving as mayor, he represented District F as a City Councilmember. Mayor Wagner has a long history of serving his community. At the age of 18, he became a police officer and was the youngest Reserve Police Officer in the department's history and went on to serve as a Houston police officer for 34 years.

Over the past three decades, Mayor Wagner's passion to protect and serve has earned him multiple honors and achievements. Recognition has ranged from the Space Center Rotary Club Distinguished Service Award to the American Police Hall of Fame Achievement's Criminal Investigation Award. These accomplishments, coupled with both the Houston Police Officer's Union and the 100 Club of Houston each naming Jeff Wagner IOfficer of the Year and the television station, ABC Channel 13 KTRK, Officer of the Month, among other departmental commendations have all been a reflection of his unwavering dedication and integrity.

Mayor Wagner's broad experience in public service has instilled in him a strong desire to ensure conservative principles are applied in city government. He believes good city governance comes from a foundation of sound business sense on the part of those who serve in office and Jeff looks to effective public safety, fiscal responsibility and strong economic development as the cornerstone of his daily priorities. In addition, he will work hard to ensure exemplary service.

(要訳) F地区の市議会議員であったジェフ・A・ワグナー氏は7月1日、パサデナ市の市長に就任しました。18歳で警察官になって以来、34年間、地域のために務めを果たしてきました。この間、数々の団体から表彰されましたが、これはひとえに、彼の揺るぎない献身と誠実によるものです。そうした彼の豊富な経験は今後の市政運営に活かされ、健全なビジネス、市民の安全、財政問題、そして、力強い経済発展に尽力することが期待されます。

ハリケーン「ハービー」大被害をもたらす トンプソン中学校床上浸水60cm、 皆さんの善意をお待ちしております



「救助される市民」



「浸水した家屋」



「冠水したトンプソン中音楽室」

8月25日にテキサス州に上陸したハリケーン「ハービー」はヒューストン周辺に豪雨による記録的な洪水被害をもたらし、パサデナ市も大きな被害を受けました。姉妹都市協会元会長のエド・ゴードさんや同協会役員のレオン・サーシーさんの家も床上浸水に遭い、エド・ゴード夫妻はボートで避難しました。元役員のマセラさん、理事のシェリーさんとダンスビーさんも少なからず被害を受けました。

渋沢中学校の姉妹校であるトンプソン中学校では、床上60cmの浸水があり、学校の教材・教具はすべて廃棄処分となり、現在は高校の校舎を借りて、授業を行っています。トンプソン中学校の校舎に戻るには1年くらいかかるようです。

こうしたなかで、秦野市・秦野市教育委員会、秦野パサデナ友好協会では義援金募集を始めました。市民をはじめ多くの関係者にご協力をお願いしているところです。

会員のひろば

ファミリーとしてさらなる発展を期待!

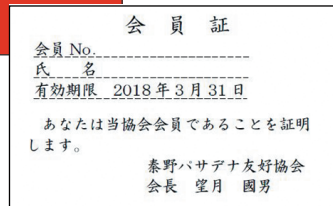


「スカイプで交流するトンプソン中生と秦野の中高生」

私が会員となり早くも5年目に入りました。これまでいくつかの協会の行事に参加し会員の皆様と様々なお話をさせていただき、自分自身の視野が広がったと感じています。

特に、中学生とともに会話練習を行い参加した、インターネットテレビ電話交流「スカイプキャンプ」は思い出深いものがあります。回を重ねるごとに工夫され、お互い質問し合うだけでなく、学校や市の紹介、そして歌のコラボレーションなどがあり、子供たちが楽しそうに生き生きと英語で挑戦する姿を、本当に頼もしく思います。

秦野、パサデナ双方の若い世代が交流を深めるため、会員の皆様を着々と計画し、準備を進め育てていくこの協会のスタンスは、正に「ファミリー」という言葉がぴったりです。私たちも会員同士楽しみながら、ファミリーの一員として、お手伝いを続けていくことができればと思います。
名古屋まゆみ



テキサス州旗が 会員証に

子供用に未来会員証を用意

今年度から、秦野パサデナ友好協会の会員証を発行しました。これは会員各々の所属感の向上を目的に制作しました。裏面はテキサス州旗をモチーフにデザインされています。有効期限は毎年度3月31日までとし、会員番号の変更とともに毎年発行します。会員番号はイベント開催時の受付で利用できます。未来会員証はイベントに参加した子供たちに配布します。

編集後記

今年度は一部役員の交替もありましたが、さっそく新規事業を手掛ける部会活動が始まっています。また、老若男女の新規会員が大幅増となり、今後の活動に大きな期待が望めます。幅広い会員の声を『Howdy』にお寄せください。 飯塚雄三

秦パ交流記

礼節とおいしさの狭間で
揺れた結果は?

山口安男

平成二十六年十一月に提携五十周年記念市民親善訪問団として訪問した時のこと、パサデナ市に到着した日の夜、シャーロット・イーズさん宅での歓迎パーティーで、七十代のご婦人が食べ物を大皿いっぱい私の所を持ってきて、にっこりと笑い、「たくさん食べてください」と言ってくれた好意は、何とも微笑ましく感じました。アメリカ人の「おもてなし」を強く感じ、これに応えるべく、残さず食べることが日本人としての礼儀と思いましたが、食事毎の量の多さにはビックリ。最初のパーティーから体重が増え始める。滞在期間中に全く遠慮しなかったことが、後悔の始まりでもありました。



第16号

発行 秦野パサデナ友好協会
事務局 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
(秦野市市民部市民活動支援課内)
TEL 0463(82)5118 FAX 0463(82)6793
E-mail siminkatudou@city.hadano.kanagawa.jp
発行日 2017年9月29日



「市役所に展示された写真」

9月29日記念すべき日を「パサデナ月間」に ハリケーン災害に募金呼びかける



「設置された募金箱」

皆さん、緑豊かなカルチャーパークに何だかちょっとおもしろい形をしたモニュメントと何やら立派な記念碑が目目を引く「パサデナストリート」という通りがあるのをご存知ですか。実はこれ、秦野市とアメリカテキサス州にあるパサデナ市との姉妹都市提携を記念して設置された国際交流の証なのです。

そして、9月29日は1964年に秦野市議会において両市の姉妹都市提携が議決された記念すべき日です。既に50年以上も続いているこの素晴らしい姉妹都市交流をさらに発展させていくために、当協会では、今年度よりこの日を含む9月を「パサデナ月間」と称し、秦野市民に広くこの交流を知っていただく企画を用意しました。

まず、9月1ヵ月間、市役所本庁舎1階で、今年1月にパサデナを訪れた訪問団の写真を展示しました。しかし、現地時間8月25日テキサス州南東部に上陸したハリケーン・ハービーにより、パサデナ市民も被災しているとのニュースが飛び込んできたため、急ぎよ、市は、この写真展に9月13日から29日まで募金箱を設置し、広く市民に募金を呼びかけました。また、9月17日に予定していた記念碑の清掃は台風の影響で中止になってしまいましたが、今後もこうした姉妹都市交流活動や支援の輪を広げていきたいと思ひます。 研修部長 野呂香

パサデナ市新市長にワグナー氏

関連記事
(中面に掲載)

去る5月7日にパサデナ市市長選挙が行われ、決戦投票にもつれ込む激戦の末、元パサデナ市議会議員のジェフ・ワグナー氏が勝利をつかみました。

パサデナ市長の任期は4年ですが、連続3期務めることはできないため、ジョニー・イズベル前市長は、今回の選挙での立候補権はありませんでした。

パサデナ市長選では、票数トップの候補者であっても、全体の5割以上の票数を得なければ当選とはならず、上位候補者2名による決選投票が行われる制度になっています。今回の市長選では、立候補者が7名と大勢いたため、票数が割れてしまい、6月10日に、票数トップのワグナー氏と2位でサンジャント大学評議員のジョン・ムーン・Jr.氏による決選投票にもつれ込みましたが、ワグナー氏がトップのまま逃げ切りました。

ワグナー氏は7月1日の宣誓式で、正式にパサデナ市長に就任しました。



「宣誓式に臨むワグナー市長(中央)」